

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3970400200		
法人名	有限会社 ライフ		
事業所名	グループホーム レッツ		
所在地	南国市里改田1135番地1		
自己評価作成日	平成24年10月20日	評価結果 市町村受理日	平成25年1月4日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

これまで培ってきた能力や知識、交流関係が、日々の生活で維持できるよう、役割を持っていただいたり、個性が持てるような支援をしている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kagokensaku.jp/39/index.php?action=kouhyou_detail_2010_022_kani=true&amp;JgvosyoCd=3970400200-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022">http://www.kagokensaku.jp/39/index.php?action=kouhyou_detail_2010_022_kani=true&amp;JgvosyoCd=3970400200-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成24年12月5日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は広い敷地を有し、敷地には屋根付きの憩いの場所や庭園、野菜畑などが造られ、利用者が畑づくりを見て刺激を受けたり、季節を感じられる工夫がされている。駐車場も十分な広さがあり、盆や正月には近隣の帰省客に利用してもらうことで、地域との交流に役立っている。また、近隣の農家からは野菜などのまとまった量の提供があるなど、地域に親しまれている。運営推進会議では家族代表が毎回6~7名は参加し、設定テーマに応じた専門的な説明もあって啓発を兼ねた会議になっている。会議では地震・津波防災を継続議題にし、地域代表、行政担当者等と避難方法や避難タワーの設置について検討が行われている。運営面では、職員の研修を支援し、職員自らも介護福祉士等の資格取得へ意欲を持って取り組み、資格者が増えている。また、管理者や職員間の報告、連絡、相談を確実にやり、意思疎通を円滑にしてチームワークでケアに取り組んでいる。職員や利用者同士が互いに助け合い、互いを尊重する理念の実現を目指し、実践している事業所である。

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名:たんぽぽ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員間話し合いでつくった理念を、目に触れる所に掲示し、日頃より理念に沿ったケアが行えるようにしている。	理念は目につきやすい場所へ掲示し、月1回のカンファレンスの中で振り返りを行い、ケアに反映している。利用者の能力の維持に重点を置き、互いの助け合いという理念に結び付くよう努めている。	
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の行事(防災訓練・一斉清掃等)にも参加している。ホームの行事(踊り・運営推進会議等)には、参加していただいている。参加人数も増している。	町内会行事への参加と共に、事業所の行事を地区回覧板で周知し、ボランティアによる踊りや歌等の行事には地域の人の参加がある。また、高齢化への不安からの来訪もあり、事業所の説明をして交流している。敷地を地区の避難タワーの設置場所に提供する検討も地域と一緒に進められている。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を活用し、職員や役所の方が講師役となり、発表や報告、勉強会を行っている。また、介護や介護サービス利用の相談(訪問・電話)も応じている。		
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービス状況や評価への取り組み、意義等を議題とし、意見やアドバイスを受けている。また、意見やアドバイスを活かせるよう職員会での話し合いも行っている。	地域代表や家族代表が多く参加し、事業報告だけでなく、認知症への理解や防災等の関心の高いテーマを設定し、専門的立場からの説明が行われている。説明への質疑を通して家族の理解が得られており、議事録は詳細にまとめられ、来所者に配布したり、必要に応じて家族に送付されている。	
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	事あるごとに訪問や電話で指導やアドバイスをいただいている。また、市担当者からの相談事項にも、適切に対応が行えるよう努めている。	市担当課へは、介護保険法の運用上の相談を行い、市からは入居相談や介護保険対象外の部分での事業所の設備利用などについて相談があり、対応や連携に努めている。書類提出や法改正に伴う相談の折には、代表者や管理者が市へ出向いて関係を築くようにしている。	
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代表者や管理者より、身体拘束について、職員会で講習を行ったり、外部研修に参加し、伝達講習を行っている。身体拘束廃止マニュアル、項目も、職員がいつでも目が通せる所に保管している。	身体拘束に関する研修を年1回は受講している。受講者は職員会で伝達を行い、認識を共有している。身体拘束廃止マニュアルは必要事項がある都度追加し、新資料を綴じている。施錠は夜間のみとし、行動制限にならないよう日常の声かけに特に注意している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	代表者や管理者より、虐待防止について職員会で講習を行ったり、外部研修に参加し、伝達講習を行っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在活用ケースは無いが、対応出来るよう、職員会、ユニット会等で伝達講習を行っている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に際し、十分説明を行い、納得していただけるよう努めている。必要に応じ、代表者、管理者2名で対応し、説明が不十分にならないよう工夫している。		
10	(6)	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各々入居者に担当の職員をつけており、要望等をお伺いしている。ご家族は来所時等に代表者、または管理者が意見、要望をお伺いするようにしている。	家族には毎月手紙で利用者の近況を知らせるほか、月1回ほど電話で話し要望等を聞いている。また、カンファレンスには半数ほどの家族の出席があり、その時に意見を聞いている。家族会は昨年は開催できておらず、今年度は新年会を兼ねて開催を検討している。	事業所から個別に家族の意見を聞くだけでなく、定期的に家族会を開催し、気兼ねなく家族同士で話し合いができる工夫をして、家族会としての意見を運営に反映していくことを期待したい。
11	(7)	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会での意見交換や、代表者が面談を行い、意見等を聞き、運営に反映できるよう努めている。	月1回のユニット合同の職員会にはほぼ全職員が出席し、意見を言える場となっているほか、年1回の代表者との面談において、待遇面や人員、人間関係等の話を聞いている。職員意見により、計画の変更や人員配置の調整などを行っている。また、日常的に管理者へ連絡、相談ができる関係を築いている。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、職員の努力や勤務状況が把握できるように、管理者と面談等を行い、人事考課をしている。キャリアパスや介護職員処遇改善交付金(加算)等を活用したり、また、職員会等での説明も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取り組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験等に応じ、研修に参加できるよう配慮している。また、研修費等の事業所一部負担もあり、積極的に研修に参加しやすい環境である。資格取得者数も年々増加している。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国、県、市単位の協会に所属しており、勉強会に参加している。また、他事業所が行う勉強会や訓練にも参加し、サービス向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前より面談を行ったり、来所していただき、一緒にティータイムを過ごしていただいている。少しでも早い段階で馴染んでいただき、要望等が聞き出せるよう努めている。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居申込、相談や見学は可能な限り、管理者、介護支援専門員が受けるようにしており、要望や不安な事をお伺いしている。また、不十分な場合は、2度、3度と話し合いをし、信頼関係が築けるようにしている。		
17		<b>○初期対応の見極めと支援</b> サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前に面接をさせていただき、入所時に必要なサービス内容について、職員間で検討している。		
18		<b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	役割分担が自然に出来ていて、家族のように利用者同士支えあっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<b>○本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の日頃の状態は、月に1回のお便りや、来所時に報告させていただいている。また、体調の変化等ある場合には、相談し、よりよい解決方法を模索している。		
20	(8)	<b>○馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前より利用していた美容室や喫茶店等に出かけられるよう支援している。また、面会や手紙などでも交流をしている。	地元地区の利用者が多く、小学校からの友人や、昔の仕事仲間の方が来所してくれたり、暮らしていた場所やよく行っていた店を訪ねたりして、これまでの関係性が保たれるよう支援している。	
21		<b>○利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係が把握できるよう少しでも多く会話をするよう心掛けている。また、台所仕事や畑仕事を通じ、利用者同士良い関係が保てるよう橋渡ししている。		
22		<b>○関係を断ち切らない取組み</b> サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後、今までの生活が継続できるよう、情報提供を行ったり、見舞い等に伺っている。また、ご家族からの相談にもものっている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	<b>○思いや意向の把握</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや希望が把握できるよう、日々の会話などでも、必要に応じ、メモをとるよう心掛け、カンファレンス等で検討し、プランに反映できるよう努めている。	利用者とは話しながら本人の希望や思いを把握している。意思疎通が困難な場合は、付き添いながら動作を見て、欲しい物等を判断し、苦痛が判断されるときはその緩和に取り組んでいる。また、家族からも情報を得るようにしている。買物や外出への希望が多く、意向に沿うよう努めている。	
24		<b>○これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、ケアマネージャー等から情報を収集し、今までの生活が継続できるよう心掛けている。また、入居後、新たに得た情報も、職員間、家族とも共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<b>○暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人、その日の生活リズム、心身の変化等を見ながら、申し送りや記録する事により、職員全員が把握し、病気等も早く気づけるようにしている。		
26	(10)	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者から、思いや意見を聞き、様子を見てアセスメントを行っている。また、カンファレンスには家族にも参加していただいている。介護計画には、利用者、家族の要望等を反映できるようにしている。	各利用者の担当職員でミニカンファレンスを行い、意見を集約してケアマネジャー、管理者、家族等からなるカンファレンスを開き、介護計画を作成している。計画は3ヶ月ごとの見直しを基本とし、医師の指示や体調変化による臨時の見直しもある。成果は評価表により確認し、次回見直しにつなげている。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	チェック表を利用し、介護計画が実践できているかチェックしている。また、体調変化や気づき等を変化記録として個別記録と同じ場所に保管し、ケアの実践、介護計画の見直しに役立てている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族のニーズに応じ、個別での買物、ドライブ、散髪、受診などに対応できるようにしている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	週に2度、ボランティアに協力していただいたり、パンや飲料の訪問販売を利用している。		
30	(11)	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医が週4日の往診をして下さっている。本人や家族の希望により、他科への受診もしている。必要に応じ、同行受診もやっている。	希望のかかりつけ医へ受診し、希望のない場合は協力医療機関をかかりつけ医としている。協力医療機関からは日常的に往診があり、利用者の健康状態が把握されている。精神科等の専門医やかかりつけ医への通院は、家族に職員が同行し受診結果を個人記録で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職との協働</b> 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護を週に1回受けている。日頃の健康管理や機能訓練等、指導、助言をいただいている。来所時には3時間位職員と共に利用者として接して下さっている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医師、相談員等と相談し、早期退院ができるよう努めている。また、入院中、不安にならないよう、職員が何度か訪問するようにしている。		
33	(12)	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に、重度化、看取りについて説明を行っている。ケアが必要となった場合には、再度説明、話し合いをし、本人、家族の希望に沿えるよう、努めている。また、主治医、訪問看護師とも連携をとっている。	入居時に事業所の看取りの方針を説明し、話し合いの必要な時期を判断して主治医、家族と話し合っている。協力医の往診や訪問看護による連携が良く取れており、本人、家族の希望に沿った看取り事例は多い。職員とは看取りの話し合いを十分に行い、職員が感じる不安を少なくしている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修会に参加したり、主治医や訪問看護師より指導を得ている。また、資料をいただいた時等は、周知できるように伝達講習している。		
35	(13)	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、消防協力のもと、避難訓練を行い、地域住民の参加も得ている。また、地域の避難訓練にも参加。避難場所も周知している。	年2回の防災訓練には地域代表者や近隣の団地からの参加がある。また、月1回の職員会の前には夜間想定避難、誘導、消火器使用の自主訓練を行い、防災意識を高めている。運営推進会議では地震、津波避難について毎回話し合い、地区の避難タワーを敷地内に設置する要望が市へ出され、検討されている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	<b>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介助、言葉がけ等、相手を尊重し、不快な思いをしないような対応を心掛けている。また、個人情報に関しては、事務所にて施錠管理している。	排泄時の羞恥心に気を配り、人の目に触れないよう工夫し、少人数で対応している。カンファレンス等では利用者の人格尊重に重きを置いて、ケアを計画している。また、職員同士の会話におけるプライバシーの保護についても、徹底して取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員側で決めた事を押しつけないよう、訴えや表情、行動を見ながら、さりげない支援ができるよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、利用者の希望やコンディションにより、一人一人のペースで過ごせるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣時の服は、自分で選択していただいている。また、希望を伺い、服や化粧品等の購入と一緒に出かけている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皮はぎ、盛り付け等、利用者と一緒に頑張っている。テーブルにも一緒につき、楽しい食事が出来るよう、会話やさりげない介助ができるよう心掛けている。	食事には、下ごしらえ、配膳、下膳など利用者の能力を活かした参加をしてもらい、利用者に達成感を与えている。食材や献立は業者委託であるが、同じ食材で利用者の希望に沿ったメニューにすることもある。毎日嚥下を良くする体操を行い、食事の楽しさにつなげている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	盛り付けの量は、利用者の食事量や体調により調節させていただいている。また、食べる量や水分量に関しては、必要に応じ、記録し、主治医や訪問看護師にも報告している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者の能力に合せ、支援を行っている。また、歯磨きや歯ブラシ、洗口剤等も利用者一人一人に合ったものを使用させていただいている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のチェックを行い、パターンを把握し、その人に合った声掛けや誘導を行っている。また、リハビリパンツやパットも時間帯や季節に合せ、見直しを行っている。	1日1食は五穀米等、排泄しやすい食事にしたたり、水分管理を行い、トイレでの排泄を促す支援をしている。30分ごとの排泄チェック表で傾向を把握し、目立たないようにトイレ誘導を行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを把握し、便秘の方にはヤクルトやヨーグルトの提供を行っている。また、水分補給、マッサージや体操等、支援している。必要時には、主治医に相談をしている。		
45	(17)	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本時間は決まっているが、希望がある方は、その時間に入浴できるよう支援している。また、入浴を希望されない方には、清拭、足浴手浴を行っている。	基本的にはいつでも入浴可能としている。利用者の体調や、気分に合わせて、足浴、清拭のときもあるが、ほとんどの利用者が2日に1回は入浴している。長期間入浴を拒否する利用者はいない。	
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れない方には、日中の活動量が増えるよう支援し、生活リズムを整えるよう努めている。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をいつでも目の通せるファイルに保管し、効能や副作用が把握できるようにしている。また、服薬の増減がある時は、変化に気を付け、記録するようにしている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事作り、大工仕事、畑仕事など、利用者の経験や知恵が十分発揮でき、積極的に役割を担ってもらえるような支援をしている。		
49	(18)	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	希望がよくあり、ドライブ、買物、散歩等に積極的に出掛けている。	外出や買物の希望が多く、月10日前後はドライブで希望の場所へ出かけている。出かける人数は場所により様々であり、車椅子の利用者も一緒に出かけ、利用者個々の希望を優先した取り組みが行われている。また、気候のいい時は庭の畑を活用した支援も行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数名ではあるが、自ら小遣いを所有されている。外出時には、自分で選び、支払ができるよう、また、立替させていただいている方も同様、自己決定、社会性の維持ができるよう支援している。		
51		<b>○電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用は、希望に沿えるようにし、個別の能力に合った支援を行っている。また、月に1度、家族や友人に絵手紙が送れるよう支援している。		
52	(19)	<b>○居心地のよい共用空間づくり</b> 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋に関しては、担当職員と利用者が話し合い、タンス等の配置決めをしている。ホールに利用者が作った貼り絵や折り紙等を適度に飾っている。また、室温、湿度も不快にならないよう調節している。	床面積が広く、ゆったりとした空間である。常に温湿度への配慮を行い、ソファや、一人で座る椅子、マッサージ機等が歩行の邪魔にならないよう配置されている。壁には、絵画や庭の花の写真、利用者や職員で作成した大型のはり絵などが飾られて、利用者が和やかに過ごせる工夫がされている。	
53		<b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルを幾つかに分けたり、ソファを配置し、テレビを見たい時、昼寝をしたい時、思い思いに過ごせるようにしている。		
54	(20)	<b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	できるだけ入居前より使い慣れた物を使用させていただくように、本人や家族と相談させていただいている。以前はタンス、仏壇も持ち込んでいただいていたが、震災等の事も考慮し、相談させていただいている。	馴染みの持ち込み家具は、地震時の転倒等への危険防止を配慮して少なくなっているが、居室の前に表札替わりの板を取り付け、室内には家族の写真や趣味の小物類を置いて、利用者が本人の居室として落ち着いて暮らせる工夫がされている。	
55		<b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋の入口には、表札やのれん等をし、混乱しないよう、工夫している。また、利用者の身体能力に合せ、随時、手摺等を追加している。		

ユニット名:

たんぽぽ

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名:れんげ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員が常に見える所に理念を掲示し、職員一同実現に向けて取り組んでいる		
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設の行事を地域の方々に連絡し、参加をして頂けるようお願いしている。出かける際、近隣の方と気軽に挨拶を行っている。		
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々の介護サービス利用に関する相談等に、気軽に応じている。		
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で話し合った議題を、職員会で報告し、話し合っている。		
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	代表者や管理者が、市の担当者を訪問し、指導やアドバイスをもらっている。		
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会に参加し、伝達講習を行っている。出入口は施錠せず、入居者の出入りを自由にしている。		

7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会に参加し、伝達講習を行っている。利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう、職員同士気を付けている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会に参加し、伝達講習を行ったり、代表者より、職員会で説明を受けている。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に説明し、理解、納得が得られるように努めている。</p>		
10	(6)	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者一人一人に担当職員を決め、家族より意見、要望を聞いている。家族会を開き、意見を求める事もある。</p>		
11	(7)	<p><b>○運営に関する職員意見の反映</b></p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会で意見交換を行ったり、意見や提案があればその都度聞く機会を設けている。</p>		
12		<p><b>○就業環境の整備</b></p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は常に、職員一人一人に声掛けを行い、話し易い環境を作ってくれている。</p>		

13	<p><b>○職員を育てる取り組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>希望する研修や職員一人一人に見合った研修に参加を配慮し、研修報告書や伝達講習を行っている。</p>		
14	<p><b>○同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会、講演会などに参加し、他施設の職員と交流する機会を作っている。</p>		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>○初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>面談を行い、希望、不安等に耳を傾けながら、施設に早く慣れて頂けるように努めている。</p>		
16	<p><b>○初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族と十分に話し合いを行い、信頼出来る関係を作っている。</p>		
17	<p><b>○初期対応の見極めと支援</b></p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人に合ったサービスを検討し、家族を含め相談している。</p>		
18	<p><b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b></p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>無理強いをせず、出来る範囲の家事等に参加して頂き、何でも話せる関係を築いている。</p>		

19		<p><b>○本人を共に支えあう家族との関係</b></p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族会や手紙(田園)で、利用者の状態を連絡し、体調の変化がある時には、電話等で連絡し相談を行っている。</p>		
20	(8)	<p><b>○馴染みの人や場との関係継続の支援</b></p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居前より利用していたパン屋さんに買物に行ったり、住んでいた家周辺にドライブに出かけたり、友人の面会を受け入れている。</p>		
21		<p><b>○利用者同士の関係の支援</b></p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員が一人一人の個性を尊重した上で、利用者同士の関わり合いが上手くいくよう、職員が間に立ってサポートしている。</p>		
22		<p><b>○関係を断ち切らない取組み</b></p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退去後も、入院先にお見舞いに行ったり、家族と出先で会えば、話をしたりしている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	<p><b>○思いや意向の把握</b></p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人一人に担当の職員を付け、希望を聞いたり、会話の中から把握できるようにしている。</p>		
24		<p><b>○これまでの暮らしの把握</b></p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用者の家族や友人等から、入居前の生活歴や生活環境を収集し、職員間で共有したり、新しい情報があれば、常に把握できるようにしている。</p>		

25		<p><b>○暮らしの現状の把握</b></p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々の体調変化に注意し、日中の過ごし方、心身状態、有する力等を記録や申し送りで職員全員が把握できるように努めている。</p>		
26	(10)	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者との日頃の関わりの中で、思いや意見を聞き、カンファレンスでは家族の意見やアイデアをいただき、介護計画を作成している。</p>		
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子を個別記録し、ケアプランチェックを行い、情報を共有しながら実践し、介護計画見直しに活かせるようにしている。</p>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、柔軟な対応を行っている。</p>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>美容院へ行ったり、パンの訪問販売を利用したりしている。ボランティア訪問で、歌、体操、談話を楽しませている。</p>		
30	(11)	<p><b>○かかりつけ医の受診支援</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関以外に、本人や家族の希望する他の医療機関も受診している。</p>		



31		<p><b>○看護職との協働</b></p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関の訪問看護を週1回受け、状態の報告や相談を行い、適切な受診や看護が受けられるようにしている。</p>		
32		<p><b>○入退院時の医療機関との協働</b></p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、職員も何度か訪問し、少しでも安心して頂けるよう努め、できるだけ早く退院出来る様、医療機関との話し合いを行っている。</p>		
33	(12)	<p><b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b></p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、柔軟な対応を行っている。意向を尊重し、主治医と話し合い、出来る限り希望に沿った最期を迎えられるよう努めている。全職員で方針を共有している。</p>		
34		<p><b>○急変や事故発生時の備え</b></p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修会や主治医、訪問看護師から、急変に対する応急処置等の指導を得ている。</p>		
35	(13)	<p><b>○災害対策</b></p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力のもと、避難訓練を行っている。地域住民にも参加を声掛けし、協力を得ている。</p>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	<p><b>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b></p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>さりげない言葉掛けを心掛け、本人の気持ちやプライバシーを損なわない様努めている。毎日使用する記録は、他者の目に触れない様に注意し、個人情報に関しても、事務所に鍵をかけて保管している。</p>		

37		<p><b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b></p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の希望を聞き、個別対応を行っている。</p>		
38		<p><b>○日々のその人らしい暮らし</b></p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人のペースを大切に、業務を優先しないよう心掛けている。</p>		
39		<p><b>○身だしなみやおしゃれの支援</b></p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>担当職員と一緒に買物に行ったり、希望を聞いて職員が購入している。</p>		
40	(15)	<p><b>○食事を楽しむことのできる支援</b></p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者と職員と一緒に会話や介助をしながら、食事を行っている。食べた後の食器を洗い場まで下げてくださっている方もいる。</p>		
41		<p><b>○栄養摂取や水分確保の支援</b></p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立と食材の記録をし、栄養バランスを考慮している。また、1日の摂取カロリーも記録し、職員の意識付けもできている。</p>		
42		<p><b>○口腔内の清潔保持</b></p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>声掛けや介助で、毎食後、口腔ケアを行い、口腔状態の把握に努めている。</p>		
43	(16)	<p><b>○排泄の自立支援</b></p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>排泄パターンを把握し、声掛け、トイレ誘導を行っている。パット等も時間帯や季節に対応して、不快感を軽減するよう支援している。</p>		

44		<p><b>○便秘の予防と対応</b></p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便状況を把握し、便秘予防のために、乳酸菌飲料や青汁を提供している。便秘の方には、腹部マッサージや水分補給等の支援を行っている。また、状況に応じて、主治医の指示を受けている。</p>		
45	(17)	<p><b>○入浴を楽しむことができる支援</b></p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p>	<p>希望に応じて柔軟に対応しており、体調に配慮しながら、足浴や清拭等を行い、清潔保持をしている。</p>		
46		<p><b>○安眠や休息の支援</b></p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>温かい飲み物を提供し、ゆっくり落ち着ける雰囲気に配慮している。また日中はなるべくフロアで過ごしていただき、体を動かしたり、会話をしていただき、心地よい刺激や疲労感が持て、よく眠れるような支援をしている。</p>		
47		<p><b>○服薬支援</b></p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人ファイルに薬説明書を保管し、職員が目を通せるようにし、目的、効能、副作用等把握している。また、処方に変更があった場合は、状態観察を行い、記録をとるようにしている。</p>		
48		<p><b>○役割、楽しみごとの支援</b></p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人一人の好みや能力に応じ、日常の暮らしで楽しんだり、積極的に役割を担ってもらおうよう支援している。</p>		
49	(18)	<p><b>○日常的な外出支援</b></p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>敷地内は広々としたスペースがあり、散歩をするにも十分楽しめる。週2日はドライブに出かけている。家族の協力もあり、一緒に外出する事もある。</p>		

50		<p><b>○お金の所持や使うことの支援</b></p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買物の際、自分で支払が出来るように、見守りや手伝い等、能力に応じた支援を行っている。</p>		
51		<p><b>○電話や手紙の支援</b></p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>個人の能力に応じて支援している。</p>		
52	(19)	<p><b>○居心地のよい共用空間づくり</b></p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>防火カーテンを各居室やホール等で使用している。入居者と共に、イベント毎の飾り付けを行い、季節感を楽しんでいる。湿温計を設置し、チェックしている。テレビ、音楽の音量にも気を付けている。</p>		
53		<p><b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b></p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアにはソファや椅子を設置し、思い思いに過ごせるようにしている。</p>		
54	(20)	<p><b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b></p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が居心地良く、落ち着いた雰囲気でも過ごせるよう、自宅で使っていた物や家族の写真を持ち込んでおり、個性のある居室となっている。各居室には、クローゼットが備えられており、地震による事故防止等にも配慮している。</p>		
55		<p><b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b></p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>浴室、トイレ、廊下には手摺りを設置し、個々の身体能力を活かせるようにしている。各居室の入口には表札を掛け、分かり易くしている。</p>		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)		1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)		1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
		○	2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
		○	2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)		1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		1. ほぼ全ての利用者が				
		○	2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				